

埼玉のぞみの園 広報誌

12
2023winter
NO.39

発行 社会福祉法人埼玉のぞみの園 埼玉県深谷市本田3343 発行責任者 理事長 榎澤正範

地域共生社会の実現に向けて

2016年「ニッポン一億総活躍プラン」に「地域共生社会」の実現が盛り込まれました。わかりやすく言うと誰もが役割を持ち、そして誰もが活躍出来る社会を目指すことだと理解しています。

埼玉のぞみの園では様々な障害分野での事業を展開しておりますが、数ある事業の中でもより地域との関わりのある「生活支援サービスのぞみ（ヘルパー部・放課後等デイサービス）」と「グループホーム」の特集を組みました。

我々に今できる事、そして今後取り組めることは何だろうか日々考えながら業務にあたる毎日です。



地域の中で暮らす 生活支援サービス のぞみヘルパー部



ヘルパー部では、介護が必要な方の自宅に訪問し、日常生活の支援（お掃除やお買い物、調理、通院の介助など）をする「**居宅介護**」、重度の障害を持つ方の自宅に出向き入浴や食事、余暇などの支援を行う「**重度訪問介護**」、行動する際に生じる危険を回避するために必要な支援を行う「**行動援護**」、車を使った外出「**生活サポート**」、**福祉有償運送**」、車を使わず自宅周辺を歩きで出かけたり、公共のバスや電車を利用して外出を行う「**移動支援**」の6つサービスを行っています。「行動援護」については、熊谷市で2事業所、寄居町・本庄市で1事業所ずつ、深谷市で2事業所とサービスを提供する事業所が少ないサービスでもあります。

不安になったり、強いこだわりが出てしまう方でも、安心して**地域で買い物**をしたり、**行事に参加**したり、楽しく安全に過ごせるようにと、支援するスタッフは必要な研修を受け、定期的に支援会議に参加し、情報を共有しながら支援させて頂いています。

ご利用者と外出すると、いつも行っている公園やプール、地域の商店、神社などで声をかけてもらうこともあります。くるりんバスの停留所や駅などでも挨拶から会話が弾み、楽しいひと時を過ごすこともあります。

そんな時に施設から自宅の生活だけでなく、**地域で共に暮らしているんだと**感じることが多々あります。

私たちヘルパー部は、地域で生活する皆様の笑顔を少しでも増やせるように、日々楽しく安心安全なサービスを提供できるように心がけて支援していきたいと考えています。（ヘルパー部 浅井）



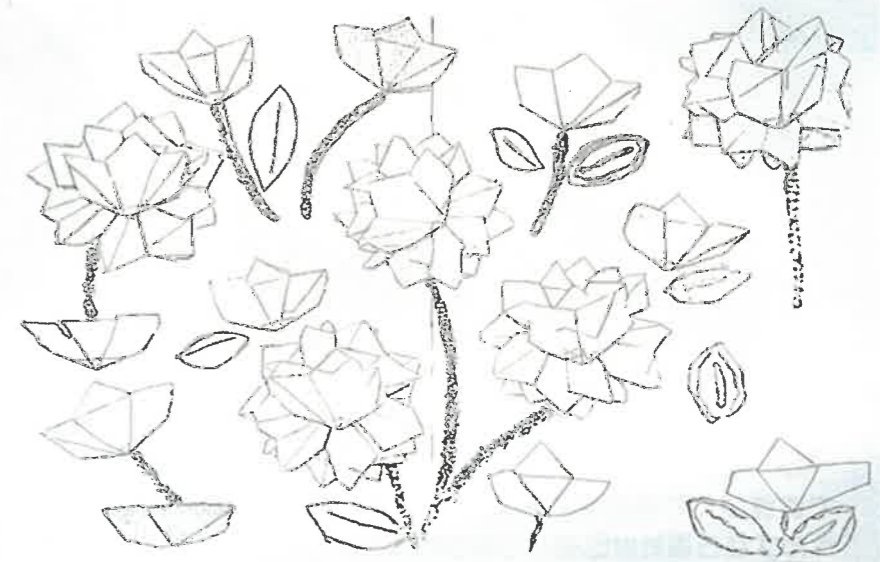
塗り絵コラム



第39号より、
【塗り絵コラム】
を始めました！
今回は【春陽の里】
のご利用者の作品です

この作品を使用した塗り絵を大募集！！
法人内外問わず応募可能です(^_^)
次号にて、応募頂いた作品の中から優秀賞を発表予定！

※作品の提出は1/31までに各事業所の広報委員へお願いいたします。
(春陽の里 吉田)



新入職員紹介

富田 詩乃 (とみた しの)
配属：のぞみの園ホーム 支援員
●趣味・特技
ライブ!・器用
●私の推し!
コメダ珈琲のシロノワール
●意気込み
笑顔で頑張る!



野本 晃司 (のもと こうじ)
配属：春日園 調理員
●趣味・特技
笑うこと、食べ歩き
●私の推し!
家の猫たち!一匹に絞れません!
●意気込み
給食を通して小さな幸せを届けます。



柳沼道徳 (やぎぬま みちのり)
配属：春日園 支援員
●趣味・特技
オカリナを吹いて野鳥と戯れること。特技は愛想笑い。
●私の推し!
皆さまです。
●意気込み
カこそパワー!



小久保 大輝 (こくぼ たいき)
配属：春日園 支援員
●趣味・特技
動画視聴です。
●私の推し!
スターバックス
●意気込み
元気があれば何でもできる!



職員募集

■募集内容
正職員、パート、ボランティア
詳細は総務部までご連絡ください。

■連絡先
〈電話〉048-594-6511
〈メール〉info@nozominosono.jp

内定式



12月9日『障害者の日』に内定式を行いました。介護離れが顕著な昨今、福祉の道を目指してくれた若者たちです。よろしくお願いいたします。

公益財団あすなろ福祉財団様より表彰されました



新井喜美江職員

小林豊子職員

祝 この表彰は「障がい者の方々の健康的で明るい社会生活を営めるような指導・育成そして環境づくりのために尽くし、顕著な功績のある方へあすなろ福祉財団様から贈られます。

-二人からのコメント-

「表彰いただき、ありがとうございます。長く勤められて幸せです。周りの皆様のお陰でここまで続けることができました。これからも頑張ります。」

新連載 きらっとさんインタビュー



小林 勝正さん

今回ご紹介するきらっとさんは、第2春日園利用者の小林勝正さんです！（現在カナイ班で難易度の高いシーラー担当をしています）

Q.キラっとさんに選ばれての感想をお願いします。

なんで選ばれたのか分からないけど、嬉しい気がする。

Q.作業で活躍されていると聞きますが、心掛けていることは何ですか？

丁寧に仕事をするという事が大切。好きな仕事なので、頑張っています。

Q.第2春日園のおススメを教えてください。

利用者も職員も元気で明るいところがいい。

Q.皆さんへひと言をお願いします！

これからもよろしくお願いします。

小林さん、ありがとうございました😊

必見! 冬の感染症対策

新型コロナウイルスの感染対策に余念がなかった時から少し感染者数が落ち着きほったのもつかの間、今度はインフルエンザウイルス感染症が増加傾向になってきました。皆さんはどのように感染対策を行っていますか？飛沫感染と接触感染で拡大していく新型コロナウイルス感染症とインフルエンザウイルス感染症では、外出や感染物に触れた後やトイレで排泄をしたり排泄のお手伝いをした後などの**手洗い**と、**マスクの着用・ティッシュやハンカチで口鼻を覆う・袖で口鼻を覆うなどの咳エチケット**、そして、**十分な休養**をとることが感染対策として重要です。また、11月になり流行しているのが咽頭結膜熱（プール熱）です。これもまた、**流水や石鹸による手洗い**と**タオルの共有はしない**ことが感染予防になります。今後、1月から2月にかけて流行すると考えられるのが**レンサ球菌咽頭炎・流行性角結膜炎・感染性胃腸炎**です。これらの対策も前に述べた感染対策で予防できるので怖がる必要はありません。しっかり予防行動を行って健康で楽しい年末年始をお過ごしください。（深谷たんぽぽ 高松看護師）



秋の旅行



各事業所にておこなわれた秋の旅行の様子についてお伝えいたします！今回は、春日園、妻沼つくし、深谷たんぽぽ、のぞみ放デイの4つの事業所にご協力頂きました(^_^)のぞみ放デイでは、渋川スカイランドパーク遊園地に遠足へ。アトラクションを楽しんだり、ゲームセンターで遊ぶおさんがいたり楽しく1日を過ごしました。

妻沼つくしや深谷たんぽぽの日帰り旅行では、東京ベイ・シンフォニークルーズへ。この旅行のメインはクルーズ船で味わう豪華なコースランチです。慣れないテーブルマナーに少し緊張しながらもランチを優雅に堪能できました。食後は船内を散策し、東京ベイブリッジや東京スカイツリーを眺めて満喫しました。また、2泊3日の旅行では、今後の理想とする福祉の形、まさに「共生」を感じられる場所「シェア金沢」へ。ご利用者、職員共々勉強になる体験となりました。春日園では、群馬県猿ヶ京温泉へ「大衆演劇と蕎麦を楽しむ日帰り旅行」へ。

大衆演劇は初めて観劇する人も多く、人情芝居と歌謡ショーを満喫した大人の旅行でした。今後も、いろいろな場所へ行けたらと思います。

(春陽の里 吉田)



地域の中で暮らす のぞみの園ホーム

買い物



ホームでの地域との関りとして、一番身近なものは「買い物」ではないでしょうか。ホームでは、土日の昼食は自分たちで用意することになっています。土曜日ははる工房のお弁当を注文している方も多いのですが、注文していない方や、お弁当の配達が無い日曜日は、皆さんコンビニやスーパーで好きな昼食を購入しています。また、食事だけではなく、日用品も自分で不足分を確認しドラッグストア等に行っています。近くのコンビニまで車椅子で自走したり、自転車で薬局へ行ったり、少し遠くまで電動車椅子で行ったりと、ご利用者によって様々です。

私達にとっては普段して当たり前である小さな買い物でも、ご利用者にとっては楽しみの一つであり、地域と触れ合う大切な機会となっています。

理容室

1・2号館から歩いて行ける距離には理容室があり、ご利用者の行きつけとなっています。ホームのことも把握してくださっていて、ご利用者も安心して髪を切りに行けています。帰りに急な雨が降った時には、ホームに連絡をいれてくださったり、車椅子のご利用者をホームまで送ってくださったこともあり、とてもお世話になっております。今回も広報への掲載にあたって連絡したところ、快く承諾いただきました。ヘアサロンMASIKOさん、いつもありがとうございます。買い物よりハードルが高くなる整髪ですが、MASIKOさんがあるおかげで、ご利用者も気負うことなく、行きたい時に通うことができています。



自治会

それぞれのホームで地域の自治会にも加入しています。年に2回あるゴミ0運動の際には、参加出来るご利用者・世話人で地域の方とゴミ拾い等おこなっています。今回は、とびたホームのゴミ0の様子を撮らせていただきました。とびたホームは歩行出来るご利用者が多い為、毎回ほぼ全員が参加しています。ご利用者にとっても、地域で生活しているんだ、と改めて実感出来る機会だと思います。

加えて、毎年お中元・お歳暮の時期には、各ホームの地域の自治会長さんや近隣の方々に法人のわかめをお配りしています。もう何年も続けているので、近隣の方もわかめに馴染みを持ってくださっていて「毎年ありがとうございます」と声をかけていただけます。職員は、普段なかなか近隣の方と接することが少ないので、年二回のこの機会を大切にしていき、地域の方との関係を築いていきたいです。

先日、深谷市グループホーム研修会に参加させていただき、社会福祉法人 清心会理事長の岡部様、アンバサダーの堀口様の講演を聞かせていただきました。ダウン症である堀口様は”利用者”の立場でもあり、清心会の”広報部長”としても全国で活躍されています。ご利用者の想いをこういった形で聞く機会は無かったので、とても貴重な体験をさせていただきました。

今回の講演の中で、堀口様がおっしゃった「僕たちの通訳になってください」「僕たちの思いを決めつけしないでください」という言葉が強く印象に残りました。私たち職員が、地域とご利用者の通訳として動いていくことが、地域共生を進めていくうえで大切なことだと感じました。決めつけをせず、ご利用者の気持ちを通訳・代弁出来るような職員になれたらと思います。

(のぞみの園ホーム 手塚)

地域の中で暮らす のぞみ放課後等デイサービス

放デイ交流会 先日、深谷市内にある放課後等デイサービスでの合同企画『放デイ交流会』を、はばたき特別支援学校で開きました。

事前に他事業所の職員さんと一緒に、イベント内容を企画して当日を迎えました。交流会では、子ども達同士で名刺交換をしたり、綱引きや飽き缶倒しなど、他の事業所の職員さんが用意してくださったコーナーに行き、楽しく交流しました。また、子ども達だけでなく我々職員も、普段関りが少ない他事業所の職員と交流することができ、同じ業種ならではの共感や悩みなどを共有する良いきっかけとなりました。



ボランティアの受け入れ ～印象深い思い出～

積極的にボランティアを受け入れています！

受け入れたボランティアの中で、印象に残っている学生がいます。ボランティアを募集し始めてすぐに、深谷市内在住で引きこもり気味という高校生の子どもが来ました。年明け早々に寒の中来ていただき、子ども達と一緒に神社に初詣に行ったり、正月遊びにコマや福笑いなどをして、三日間子ども達と楽しく過ごしていただきました。子ども達も気に入ってよく話しかけていました。ボランティア最終日には、子どもに「次はいつ来ますか？」と聞かれ困っている印象もありました。本人は「楽しかったです」と言ってその日は帰っていきました。

そこから一年経って、たまたまそのボランティアの学生のお母様と電話で話をする機会がありました。のぞみでボランティアをして楽しかったと話し、その後福祉に興味が出て今は介護福祉士を目指して専門学校で頑張っていますと聞きました。学生の将来の進路のひとつに、のぞみが少しでも影響を与えていたらと考えると凄いことだなと感じています。のぞみに来る学生のボランティアは教員・看護・医者などの明確な目標がある方をはじめ、様々な理由から体験に来ています。また、社会人でも興味があると言って働きながらも休みの日に定期的に来ている方もいます。積極的にボランティアを募集し始めてほんの3年で、44名にボランティア登録を行い参加していただきました。このような地域との関りを継続し、のぞみのことをより知ってもらいたい架け橋になっていければと思っています。(のぞみ放課後等デイサービス 内田)



お弁当の注文を通して コロナ期間中から、休日にお弁当注文日を設定しました。近くのほっともつで注文する日が続いたところ、「いつも注文ありがとうございます」と店員さんから言われるようになりました。



次第に店長さんにも顔を覚えていただき、話しかけてくれるようになりました。のぞみということを知ってくれ、店長さんから「町で見かける日本財団の車両を意識してみるようになったよ」「のぞみじゃないかなと探すようになった」と話してくれるまでになりました。

お弁当の注文から地域との関りが生まれ、のぞみという存在を知っていただいたとき、とても嬉しく思いました。個人的に『開かれた事業所』『もっと外部にのぞみを知って欲しい』ということを考えていたので、今回このように関係を築けたのはありがたいと感じています。

あわれみでなくお互い幸せになること

理事長 榎澤 正範

埼玉のぞみの園は「あわれみではなく、お互い人間として幸せになること」を基本理念としています。昭和52年設立以来、障害をお持ちの方々への支援を中心に事業を展開しております。同時に、地域の方々に関わる行事や実習生の受け入れ等、全国社会福祉協議会が「公益的な取組」として挙げている活動にも積極的に取り組んでおります。それは、国における社会保障・社会福祉の実践にかかわる基本理念として社会福祉法第24条に「社会福祉法人の責務としての地域における公益的な取組」を通して「地域共生社会の実現に向けてイニシアティブを取る」必要があるとされているからです。

平成29年には当時の安倍政権が「女性もお年寄りも若者も障害や難病がある方も、だれもが生きがいを感じられる『一億総活躍社会』を目標に掲げました。福祉の分野でも「支え手側」と「受け手側」に分かれるのではなく、**地域の住民としてそれぞれが役割を持ち支え合いながら自分らしく活躍できる**コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる地域共生社会を目指すのです。こうした観点から、埼玉のぞみの園は今まで以上に地域の皆様との共生を図った取組を展開していく所存です。

石川県白山市に「佛子園」という社会福祉法人があります。この法人のコンセプトは「**「うちまぜの街」**」。先日深谷たんぼの開設40周年旅行と併せて、法人職員11名が同法人を訪れ見学説明を受けました。その詳細は下記に譲りますが、これからの私達の方向を目指す第一歩になればと思っています。もちろん「地域共生社会」が一朝一夕で実現出来る筈はなく、まずは出来ることから一歩ずつ取り組むつもりです。どうぞ、皆様の更なるご理解と協力をお願いいたします。

金沢 視察記

10月24日、石川県金沢市にある社会福祉法人佛子園様に法人職員11名で見学に行ってきました。

今回のチームは社会福祉法人として埼玉のぞみの園が将来にわたり、地域共生社会を目指すためにどのような取組を行っていくべきかを学ぶことでした。見学に訪問したところは「シェア金沢」になります。

◆施設の紹介◆

はじめにシェア金沢の清水施設長様にシェア金沢の紹介をしていただきました。法人の職員からもたくさん質問をさせていただきました。

- ◆施設内の様子◆
施設内には銭湯や貸出フリースペース、地域の掲示板、駄菓子販売など地域に開かれた空間が様々にありました。
- ◆施設外の様子◆
サービス付き高齢者向け住宅(サ高住)や放課後等デイサービスや就労支援の事業所、学生の住まい等々、地域に必要な環境が整備されていました。

今回の視察を終えて学びや発見もあり、これからの埼玉のぞみの園の方向性を考える良い機会となりました。(総務部 笹間)

